

武蔵台だより

第362号

発行	こま武蔵台自治会
	☎982-3904
編集	広報部
発行部数	2,500部(単価47円)



**明けましておめでとございます。
武蔵台にとって亥年は意味深い年に！**

こま武蔵台自治会会長 柳沢弘二

今年の干支は亥(いのしし)。十二支最後の亥年には、内に秘められた力で今まで繁栄してきた様子を統制し、しっかりと前進するという意味があるそうです。私たちの街、武蔵台にとり、亥年は意味の深い年と感じます。

31年度の自治会の新班長・役員を決めるための準備が昨年12月に始まりました。会員の皆さんの日々の生活や活動の要となる班長さんは現在150名。ほとんどが輪番制で班長さんになって頂いています。でも、今この仕組みが少しずつ崩れていく状況に直面しています。高齢化や独居世帯が大きくな影を落とし、「自治会員でありたい、でも班長の役割が担えないので自治会を退会したい」との声が聞こえてきます。このような状況がこれ以上続かないように、自治会活動の見直しをしなければならぬ時期に来ていると考えます。

**安全で安心して暮らせる街、
そして持続可能な元気な街にするためには
若い世代の力が不可欠です！**

今年、今までのスローガン『安全で安心して暮らせる街』に、『そして持続可能な活力溢れる街』を加え、みんなを考え、行動する年にしなければなりません。「庭木が林となり、やがて街が森となる・・・」というような冗談が本当のことにならないように。そのためには若い世代の活力が必要です。自治会ではホームページを中心に、武蔵台の魅力発信してきました。その目線はお年寄り世代を意識したものにちがいました。これからは、もっと若い方々の目線情報を増やしていかなければなりません。そして、若い世

代、子育て世代が移り住み、出来る範囲で自治会活動に参加し、高齢者世代とのコラボレーションを生む街にすることに、「持続可能な活力溢れる街」に変貌することができます。これは自治会だけでできるものではなく、行政は勿論、地域の団体や活動サークル、広く住民の方々の参加があってこそできるものです。

さあ、皆さん、希望に胸を膨らませ、変革を恐れず、新しい年に踏み出しましょう。

こま武蔵台 シンポジウム開催

12月16日に武蔵台公民館で「郊外型住宅団地のいま、そして将来」をテーマにして、こま武蔵台シンポジウムを開催しました。定員100人の会場に約150人の参加があり、関心の高さを物語っていました。

基調講演では、都市交通計画の専門家である横浜国大の中村副学長が、郊外の大型団地における交通移動手段・モビリティシステムの重要性と導入の課題について、武蔵台を例にわかりやすい説明がありました。また、都市工学専門家の東大、樋野准教授とNPO法人、鈴木代表からは、大型団地が元気になるためには、住宅の多様性、用途の多様性、住民の多様性がポイントであり、武蔵台には豊かな自然、手頃な住宅価格、経験豊富なシニア人材など、街を元気にする要素が数多くあることを指摘されるなど、現在の武蔵台を知り、これから何をすべきかを考える、示唆に富んだシンポジウムになりました。

こま武蔵台シンポジウム実行委員長

柳沢弘二



定員を超える参加者

平成30年度（11月） 第8回定例役員会報告

11月17日（土） 午後7時～9時
自治会館2F会議室

自治会館2F会議室

【協議事項】

- (1) 平成31年度役員選出委員会及び役員推薦委員会の設置及び定例総会関係日程
- (2) 平成31年度各部予算案の策定について

【連絡事項】

- (1) 12月度役員会と忘年会の予定

【報告事項】

- (1) 地区長からの報告
4丁目
・8、9班会議・次年度統合を決定
- (2) 各専門部からの報告
体育部長
・第17回奥むさし駅伝競走大会参加申し込みについて
- (3) 会長・区長からの報告
11/18（日）フレンド幼稚園、故須藤園長お別れの会
11/21（水）区長研修会・地域ケア会議
11/23（金）日高市社会福祉大会
12/01（土）高麗地区区長会議
12/16（日）こま武蔵台シンポジウム
△（公民館）

平成30年度（12月） 第9回定例役員会報告

12月15日（土） 午後5時～6時30分
自治会館2F会議室

自治会館2F会議室

【協議事項】

- (1) 「武蔵台安全祈願新春の集い」開催について
- (2) 実施予定日：平成31年1月5日
土曜日
・開催目的、運営、行事内容、準備作業の進め方等について、別紙資料にて説明し承認を得る。
- (3) 山車格納庫の修繕について
・台風24号による損害部分の修繕費用（現在の見積りでは127千円）修繕の実施を承認
- (4) こま武蔵台シンポジウム
12月16日（日）午後2時より公民館
主催・こま武蔵台シンポジウム実行委員会
・日高市、社協と並び、自治会も後援することに関する承認について

【報告事項】

- (1) 平成31年度役員選出作業状況について
- (1) 地区長からの報告
6丁目 砂の入り公園に大人の健康器具を置くことについて

- (2) 副会長・事務局からの報告
副会長 住所表示プレート2か所交換
事務局 スタッキングチェア30脚購入予定

- (3) 会長/区長の主なスケジュール
12/16（日）こま武蔵台シンポジウム
△（公民館）

- 1/5（土）武蔵台安全祈願新春の集い
- 1/16（水）地域ケア会議
- 1/17（木）福祉ネット会議
- 1/23（水）日高市区長会議
- 1/27（日）奥むさし駅伝応援



日高市国際交流協会より

お近くに外国籍の方がいましたらご紹介ください。協会では日本語教室やイベントを通じ日高の生活に馴染んでいただけるよう活動をしています。

団地内清掃に思う

11月10日、3回目の団地内清掃が行われました。車で団地内に入ってくる雑草が除かれた並木道は見違えたように清々しく映り、住民の皆さんの規律や努力が偲ばれます。

高齢化のために年々参加が難しくなり、担当区域の人手のバランスが崩れる等課題が指摘される昨今ですが住民の皆さんが互いにカバーし合いこの成果があるものと思われまます。また、それを主導している自治会環境部の方々ご苦勞様です。

団地内清掃と言っつのは自治会が主導しているとは言え、自治会員のみならず全住民参加の活動ですので、前述の課題の事もあり出来るだけ多くの皆さんの参加をお願いしたいものです。

その様な中、毎回清掃活動に参画して大変お力をいただいている団体に西武鉄道車両検修場があります。地域と協働する企業のマインドは具体的に私たちの助けにもなり好ましいものでした。(K・K)



新天地、武蔵台に思う事

縁もゆかりもないこの地に移り住んでもうすぐ3年が経とうとしています。

私達家族は10年以上住んだ東京から越してきましたが、もともと私は北海道出身（しかも実家は牧場）、妻は新潟出身です。

4年ほど前、小学生の2人の子ども達も段々と大きくなり、戸建ての購入を真剣に考え始めた際に頭に浮かんだ条件は、東京近郊で都内にも無理なくアクセス可能な範囲且つ自然豊かな場所でした。

そんな条件で色々を探した結果、最終的にこの武蔵台にたどり着いたわけです。

決して大袈裟に表現するつもりではありませんが、東京の更に前にロンドンに8年ほど住んでいた私は、武蔵台の街並みを初めて目にした時に真っ先にロンドンの閑静な住宅街を思い浮かべました。ロンドンの住宅街は高級に



なればなるほど木々に囲まれ、緑の多さはそのまま豊かさの象徴でもありません。武蔵台の街並みを見た時にもそれと似た豊かさを感じたのです。

整頓された街並み、それでいて各々の家が緑豊かな庭に囲まれ個性を楽しんでいる雰囲気魅了されたのは言うまでもなく、そこから今の家の購入に至るまではあつという間だったように思えます。そして実際に引っ越してからも、その魅力は更に増えていきました。

まるで自分の裏山のようにいつでもウォーキングが出来る多峯主山や天覧山、四季折々に楽しませてくれる巾着田、いつでも旬の野菜が安く手に入る朝どれファーム等々、今でも色々な発見が私達家族を迎えてくれます。そんな我が家は、引っ越した時から少しずつDIYもしています。なるべくリフォームの予算を抑えるという目的もありますが、元々建っている中古住宅の制約の中で、自分達の好きなように少しずつ変えて行く過程を楽しんでいます。壁にペンキを塗ったり、タイルを貼ったり、棚を付けてみたり、未だに完成しないサグラダファミリアのようです（笑）。

古い住宅の外観はそのままに、皆が好きなようにリフォームして大切にする姿勢は、イギリスやヨーロッパでは馴染み深いものです。長らく住宅でも車でも何でも新調するのが当たり前になっている日本でも、少しずつこう

いった姿勢が若い世代に浸透して行くことを願います。

環境だけでなく親切な住人の皆さんの温かさもあり、とても気に入っているここ武蔵台ですが、高齢化と人口減少の例外ではないこの地のこれからに對し不安の念もあります。

しかし私達と同じように都会からそう遠くないこの緑豊かな地に魅力を感じ、移り住みたいと思う若い世代も必ずいるはず。IT技術が益々発達していくこれからの世の中だからこそ、豊かな自然は手に入らない大都会よりも、自然に囲まれつつ便利な暮らしも犠牲にしないライフスタイルはどんどん広まっていくことでしょう。

そんな魅力に気づいてしまった私は、これから空き家がどんどん増えていく街並みをただ眺めているのではなく、一住民として微力ながら、武蔵台の魅力を発信していくお役に立てればと、3年が経とうとしている今、思い始めています。(D・S)

文化祭が開催されました

去る10月27日(土)・28日(日)の2日間にわたり第35回武蔵台公民館文化祭を公民館利用サークルや地域の皆様のご協力により開催することができ、心より感謝申し上げます。

公民館で活動されているサークルの作品展示や芸能発表は、全体的にハイクオリティーで日頃の熱心な活動の成果がいかなく発揮された場となりました。

した。また、模擬店や武蔵台小バトンクラブ、武蔵台中吹奏楽部、フレンドこども園の皆さんの出演も文化祭を大いに盛り上げてくれました。この文化祭が皆様に楽しんでいただき、地域のつながりに少しでも寄与できたのであれば幸いです。

武蔵台公民館長 新井義雄

自治会日帰りバス旅行報告

11月14日(水) 大型バス2台、72名参加で千葉県養老溪谷へ旅行しまし



た。晴天には恵まれましたが、紅葉には少し早い旅行となりました。素晴らしい綺麗な栗又の滝が見られました。海ほたるを経由しての目一杯遠出の溪谷散策であったため、多少強行軍であったことが反省される旅となりました。

帰路の車中ではジャンケン大会などをして楽しみました。文化厚生部

《私たちの街には美容室が複数軒あり、今度の成人式でもお世話になりそうです。》

成人式を迎える皆さんへ

髪香美容室

は、地元の皆様のご厚情により



35周年を迎えることができました。振り返るとお客様と共に歩んできました。七五三を手がけさせて頂いたお客様が成人を迎え、その第一歩をお手伝いできることに感慨深いものがあります。

今回コンクールに参加した事は、お客様に最高のお支度をさせて頂きたいという想いからです。スタッフ一同、お客様と共に幸せを感じられる事に、美容師としての最高の醍醐味を感じます。感動、感激をたくさん頂けるこの武蔵台で営業できる幸運に感謝致します。

(髪香美容室 江口美佐枝)

マドール

は、創業41年になり、これまで40回目の成人式を迎え沢山の方のお手伝いをさせ

ていただけてきました。その中でも小さな頃からお越し頂いていた方も成人を迎え、何人ものお客様をマドールで送り出す事ができました。

皆さまの大人への第一歩に関わりお手伝いさせて頂けた事をとても嬉しく思います。武蔵台も年々成人者が減っているのが現状ですが、マドールでは変わらず、大人の門出のお手伝いをさせて頂ければと思います。

(マドール 林)

武蔵台中学校 開校当時の思い出

中谷泰三

過日、武蔵台中学校創立30周年記念祝賀会に招かれまして。厳かな中にも楽しい企画満載で笑いがある素晴らしい集いでした。「月日の経つのは…」と云いますが30年の長い歳月が流れました。私は昭和の最後の3年間高麗中で、平成の初めの5年間新設武蔵台中と8年程中学校のPTA活動に携わりました。その古い思い出話です。

昭和の最後の年昭和63年、高麗中PTAの役員として翌年開校予定の武蔵台中PTA設立で走り回りました。新



役員依頼で柏木宅・田中宅にお願ひに出掛けた記憶が昨日のように感じます。

初代校長栗原先生、初代PTA会長柏木春夫さん、副会長田中三千年さんの3人のチームワークの良さと強い絆は素晴らしいものがありました。横で見ている家庭と仕事は大丈夫だろうかと心配するほどでした。3人の共通点は誰からも好かれる人柄の良さ・明るく前向きでNOと云わない性格・特に3人とも楽しいお酒で気が合ったようでした。武蔵台中PTA活動の礎はこの3人が流した汗の結晶のように思います。

初年度に立派な校旗・校章・校歌を完成させ第一回卒業式に間に合わせました。これは開校初年度の教職員とPTA役員の方々の大きな成果です。

PTAのスローガンは『すべては生徒のために』が合言葉です。テーマの『5分前行動』や『床の光は心の光』は親子共通の教えでした。

忘れられない感動的な思い出があります。初代校長栗原先生が開校以来3年間のお勤めの後、定年を迎えました。勤務最終日3月31日の深夜12時前に懐中電灯を片手に校長先生と役員数人が校庭に集合しました。皆で最後の校舎見回りを終え時計の針は12時です。この日、この時間で長い教員生活が終わる瞬間です。校長先生は月明かりに浮かぶ校舎に向かい長い時間深く頭を下げていました。校長先生は涙を流しその場の役員各自の目にも光るものがありました。

先日の創立30周年祝賀会で残念で悔しいことがひとつありました。柏木初代会長が数年前に亡くなり存命であれば喜んで出席したことでしょう。私は家族から遺影を借り出し写真で祝賀会に出席してもらいました。往時を偲ぶよい写真です。写真に話し掛けました。『柏さん！祝賀会に一緒に出ましょう。30年前はご苦労様でした』私の耳には柏木さんの声が聞こえたのです。『もう30年経ちますか！楽しい思い出でした。有難う』と。

平成の年号は終わりを告げます。平成初年度に開校した武蔵台中学校の古い思い出です。今後も地域の一人として武蔵台中学校を温かく見守りたいと思います。

リレー随想

文化の香りが色濃く残る武蔵台に

武蔵台に縁があり、こちらの建売りを購入してから、40年超になります。20代後半で購入した私が定年を迎え既に4年が経過しましたから、となり近所は当然高齢者ばかりです。武蔵台で子供を育て、この子供達も成人し、巣立って今は老夫婦二人で、皆さんと同様に静かな生活を送っております。日和田山、多峯主山、巾着田、飯能河原等の緑豊かな自然は昔と余り変わりませんが、団地内では空き家、単身者宅が散見され、自治会活動も全国どこでも共通の高齢者が主体の組織になっております。形あるものは全て千変万化しますが、夏目漱石が書いておりますように、とかく人の世は住みにくい、どこへ越しても同じだと悟った時、詩が生まれて、絵が出来る。せめて、文化の香りが色濃く残る武蔵台にしたいものです。(K・Y)

文化祭

10月27(土)、28日(日)の二日間
にわたり、武蔵台公民館において「フェスタ武蔵台2018(文化祭)」が開催されました。



内容は例年通りで、公民館内部を利用した各種作品の



展示、多目的ホールでの芸能発表、そして駐車場での物品販売等でした。幸い期間中は風雨の影響が無く、快適な秋の日のイベントとなりました。館内で行われた作品展示では、来訪者が直接作者と対面し、制作の意図や

日高カワセミの里 ツーデーウォークに参加

12月24日土曜日、前日までの天気情報では曇り空だったが、当日は快晴のウォーキング日和で、紅葉真っ盛りでした。さて、わたしは当日申し込みで「12キロのポップ遊歩道を歩くのんびりルート」を歩くことにしました。

このコースは車で走ったところもあり全然知らない道もあり、特にポップ道があることをこの日高市に来て初めて知り、有意義でもあり、各コースの分かれ道には、案内板やボランティアの方がいらっしゃって道に迷うことはなくウォーキングを楽しみました。コースは坂道があまりなく、楽しく紅葉を



その特徴について質問でき、より深く作品を理解できて大変良かったと思います。多目的ホールで披露された芸能は、各サークルの方々がこの日のために完成度を高めて来られた成果であり、観客を魅了しサークル活動へ参加したくなる様なものが多数ありました。

また駐車場に設けられた売店の焼きそば、たこ焼き、カレー等の軽食は、お祭りの雰囲気よりも一層盛り上げ、小さなお子様達にとつて忘れがたい思い出となったことでしょう。同時に、販売されていた菓子パン(アンパン、ジャムパン、カレーパン)を試食した所、出来立てで柔らかく、その良い香りと共に美味しく頂きました。(Y・M)

武蔵台で菊を育てて

昨年11月10日まで高麗神社で菊花展が開催されました。その中に武蔵台の坪沼宏さんの菊がありました。大きく綺麗に咲いている菊には入賞を示す札が付いていました。坪沼さんが菊作りに興味を持ったのは15歳頃で、お父さんの菊の趣味を手伝ったのが始まりで、83歳になった今も多くの仲間と囲まれ楽しい時間を過ごしています。



坪沼さんの奥様からお庭を案内してもらい、台風の時は全ての鉢を家に取り込むと聞きました。「鉢は重いし、背が高いし数が多く大変なのよ!」と話していたのが印象的でした。綺麗に咲いている菊は夫婦二人の作品だと感じました。来年、皆さんも綺麗な菊を楽しんでください。

(広報部 渡部)

わが街・わが地域・わが暮らしの豆知識

日高の景観・多彩な散歩コース

日高と言えば巾着田(曼殊沙華)、日和田山、高麗神社を思い浮かべる人も多いのではないかと。これらの場所は市の西側に寄っているが、東側の高萩地区、南の女影地区はどうだろう。奥武蔵と呼ばれる地域の日高市には田んぼや湿地などの水辺の環境が少ない。このような湿地や休耕田という環境は、生物の多様性に恵まれてはいるが、作物などの生産性に乏しく軽視されやすい。大谷沢、女影、上鹿山地区には休耕田が多く、四季を通し散歩していて癒される原風景ともいえる景観が残り貴重である。

そこで山地的な景観に囲まれた武蔵台地区はどうだろう。巾着田は近年、イベントの開催、BBQなどの行楽客が増大し静かに散策できなくなってきた。そのような巾着田でも早春のアズマイチゲの花で幕が開けエノキ、ムクノキ、クヌギの芽吹きなどは目を見張る景観である。時を



同じく日和田山、高麗丘陵、多峯主山付近のヤマザクラも自己主張を始める。サクラといえばソメイヨシノは高木のため鑑賞しにくい。私はいつも幹に抱きつき見上げるようにして花を觀賞している。また、5丁目、6丁目の外周道路から眺めるヤマザクラ、ウワズミザクラ、ミズキなどの花々が斜面を飾る。そして、晩秋ともなればこれらの木々は雑木林を錦色へと衣替えする。さらに7丁目北側外周道路からの横手集落と背景の山脈は絶景と言える。遠く武甲山、幾重にも重なる奥武蔵の山脈は日和田山で終点となる。季節を問わず散策コースに加えてみてはどうだろう。

私たちの暮らす身近な景観を今一度見直すきっかけになれば幸いです。最後に「いつまでもあると思うな日高の自然」という状況に、どう対応したらよいかを考える時期に来ているのではないかと。

日高市・自然観察会講師 高根廣作

移送サービスの運転手になって

移送サービスの運転手の一員として参加してから早一年が経ちました。運転者募集に応募したのは、退職後は今まで出来なかった地域への手助けを微力でも可能な範囲で参加(ボランティア)できれば、との思いがあったからです。会社勤めをしていた時は勤務先との往復で地域のことを積極的に考えることはありませんでした。高齢化はこれ

からますます加速し、移送サービスが地域において欠かせないものになると思っています。従って「気兼ねなく利用しやすい」サービスの向上にむけ検討及びピーアールを図っていく必要があると思っています。引き続き安全第一を心掛け頑張ります。そして、少しでも利用者の一助となれば幸いです。(S.H)

昨年はお世話になりました。平成もまもなく終わります。そんな節目を迎える年ですが武蔵台の皆さんはどのように新年を迎えましたか？新しい武蔵台を広報としてお届けしたいと思います。2019年もよろしく願います。

広報部長 渡部優子

編集後記

「安全祈願新春の集い」を1月5日(土)、10時~13時、ショッピングセンター内広場において開催！

自治会の恒例となっており、ぜひ多くの皆さんのご参加をお待ちしております。この目的は、新春に大人・子どもが一同に集い、地域の安全と皆さんの健康を願い、親睦を深めることにあります。

「武蔵台安全祈願新春の集い」を開催
安全対策部長 水谷悦夫

おくりやみ

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

石川 博保(76歳) 二十三十四
ご逝去日 十二月二十六日